

天体観測ドーム 今月のOPEN

18:30~21:30まで（晴天時のみ）

2/

1日(日)・7日(土)・8日(日)・11日(水)・14日(土)

15日(日)・21日(土)～23日(月)・28日(土)



2026年2月号

4日 天王星が留

9日 下弦

17日 新月/南極で金環日食

20日 水星が東方最大離角

24日 上弦

26日 水星が留



★用語解説★

留…惑星が順行⇒逆行へ変わる時、地球から見た天体上で、太陽からもっとも離れる瞬間

金環日食…月が太陽と地球の間に入り、太陽を完全に隠しきれずに太陽の周りに光の輪（リング）が見える天文現象

東方最大離角…地球から見た天球上で、太陽の東側に最も離れる瞬間

2月の星空

南の空で見つけやすいのがオリオン座です。3個の明るい星が並ぶ「三ツ星」とその近くでオレンジ色に輝くベテルギウスと青白く輝くリゲルの2個の一等星などを含む長方形に似た形が見つかります。

三ツ星を下にのばしたあたりでひときわ明るく輝くおおいぬ座のシリウスと、こいぬ座のプロキオン、ベテルギウスを結んだ三角形が「冬の大三角」。その上には、ふたご座のカストルとポルックスが見えます。また三ツ星を上にのばすと、おうし座の一等星アルデバランが見つかります。

ほかに、オリオン大星雲やおうし座のプレアデス星団など見所がいっぱいです！

今月の惑星情報

水星

月初は日の入り直後の西の低空に位置、徐々に高度を上げ、20日に東方最大離角となる。16日～23日は日の入り30分後の高度が10度を超え、見つけやすくなる。16日～23日の明るさは-0.8～0等。

金星

日の入り直後の西の低空に位置。見かけの位置が太陽に近く観察は難しい。

火星

やぎ座からみずがめ座にかけての領域を東に移動。見かけの位置が太陽に近く観察は難しい。

木星

ふたご座の領域を西に移動。宵の東から南東の空に見え、明るさは-2.6～-2.4等。

土星

うお座の領域を東に移動。宵の西の低空に位置し、明るさは1.0等。